

2015 1/23

日立製作所とグループの上場企業、計10社は2016年3月期から国際会計基準(IFRS)に移行する。発電設備や鉄道といった社会インフラ事業を世界で拡大しており、欧州やアジアで主流となっているIFRSに切り替えて、今後のM&A(合併・買収)や事業提携に備える。多くのグループ企業を擁する日立の採用で、IFRSの導入機運が高まりそうだ。

会計基準とは企業が決算などの財務諸表を作成する際のルールで、日本企業は日本基準と米国会計基準、IFRSのいずれ

## 日立グループ 国際会計基準に

国際会計基準に移行する  
日立グループの10社

	売上高
日立製作所	95,000
日立金属	9,900
日立建機	7,400
日立物流	6,600
日立ハイテクノロジーズ	6,500
日立化成	5,300
クラリオン	2,000
日立国際電気	1,720
日立工機	1,400
日立キャピタル	1,393

(注)15年3月期予想、単  
位億円

10社、来期から  
M&Aに備え

準、日立金属や日立建機などの上場子会社は日本基準を採用している。日立は売上高に占める海外の比率が5割弱になる。欧州やアジアではIFRSを使う企業が多く、日立は本体が米国基準、日立製作所とグループ内で会計基準が

である「のれん」を定期的に償却しないため、買収後の期間損益に与える影響が小さくなる場合が多い。海外企業と経営統合などをする際も、会計基準が同じなら手続きが迅速になる。

日立グループは成長へ向けてM&Aを活用している。日立本体はスイスの重電大手ABBと合併会社の設立で合意し、日立金属も14年に米社を約

1300億円を買収した。IFRSへの移行で日立のグループ企業も世界でM&Aや資本提携がやりやすくなる。

日立は人事など国内の制度を海外と共通化する取り組みを進めている。業績評価の基準となる会計制度を世界共通にすることで、グループ内の管理や改革が容易になる。

IFRSを導入している国内企業は、予定も含めて55社だ。三菱商事など総合商社が導入しているほか、富士通やセイコーエプソンは今期から移行した。日立グループの移行で65社に増える。